

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和8年2月27日

2023年度（令和5年度）の温室効果ガス排出量について

県では、埼玉県地球温暖化対策実行計画（第2期）に基づき、地球温暖化対策に取り組んでおり、計画の進捗状況を把握するため、県内の温室効果ガス排出量を推計しています。

このたび、2023年度（令和5年度）の推計結果を取りまとめましたのでお知らせします。

2023年度の温室効果ガス排出量は3,762万トン（二酸化炭素（CO₂）換算。以下同じ。）で、2013年度（平成25年度）と比べて19.2%減少しました。

● 温室効果ガス排出量の推計結果

2023年度の温室効果ガス排出量は3,762万トンとなり、埼玉県地球温暖化対策実行計画（第2期）の基準年度（2013年度）比で893万トン、19.2%減少しました。

なお、前年度比では52万トン、1.4%増加しましたが、その要因としては、夏季の平均気温は統計開始以降最も高く（当時）冷房等の需要が増加したことや、経済活動の活発化によるエネルギー消費量の増加等が考えられます。

温室効果ガス全体の93.7%を占める二酸化炭素は、基準年度比で930万トン、20.9%減少しました。一方、その他温室効果ガスは、基準年度比で36万トン、18.2%増加し、前年度比では10.3万トン、4.2%減少となりました。これは、年々増加していたハイドロフルオロカーボン類が、法に基づく排出対策等の効果が定着してきたことにより、前年度から減少に転じたこと等によるものです。

【参考】

日本全体の2023年度の温室効果ガス排出量は、基準年度（2013年度）比で23.3%減少、前年度比4.0%減少しています。

● 温室効果ガス排出量の内訳

温室効果ガス排出量 3,762 万トン (2013 年度比 893 万トン減 (19.2%減))
(前年度比 52 万トン増 (1.4%増))

二酸化炭素 3,526 万トン (2013 年度比 930 万トン減 (20.9%減))
その他温室効果ガス 236 万トン (2013 年度比 36 万トン増 (18.2%増))

【二酸化炭素の内訳】

産業部門 760 万トン (2013 年度比 238 万トン減 (23.9%減))
業務その他部門 784 万トン (2013 年度比 238 万トン減 (23.3%減))
家庭部門 843 万トン (2013 年度比 297 万トン減 (26.1%減))
運輸部門 831 万トン (2013 年度比 135 万トン減 (14.0%減))
廃棄物 107 万トン (2013 年度比 18 万トン増 (20.8%増))
工業プロセス 201 万トン (2013 年度比 40 万トン減 (16.6%減))

温室効果ガス排出量等詳細は、以下のホームページを御覧ください。

県内の温室効果ガス排出量

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/ontaico2.html>